

おしえて！

感染症さがみはら

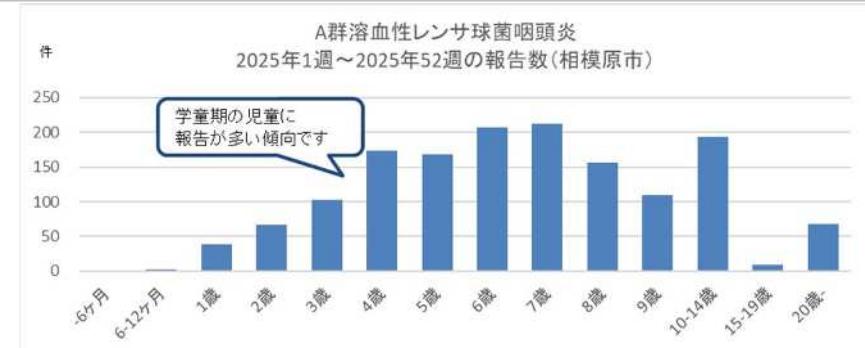
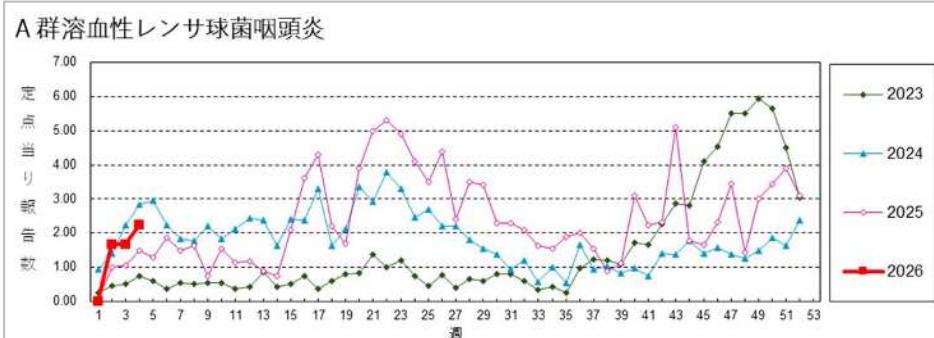
2026年2月



今月の注目疾患：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症ともいいます）はA群溶血性レンサ球菌を原因とする細菌感染症です。

冬季および春から初夏にかけて多発し、小児から成人まで、どの年代でも起こり得る感染症ですが、特に3歳から12歳の年代で多く報告される傾向にあります。



◆ 主な感染経路

- ① 咳やくしゃみによる飛沫感染
- ② 菌の付着した手指を介した接触感染



ヒトとヒトとの接触機会が増加するときに感染しやすくなります。

★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

相模原市 感染症情報センター



発行 相模原市衛生研究所

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の主な症状

紅い発疹やイチゴ舌の症状が現れることも！

感染すると1～4日の潜伏期間を経て、突然の発熱、喉の痛み・はれなどの症状が現れます。

次に、体や手足に小さくて紅い発疹が出たり、舌にイチゴのようなツブツブ(イチゴ舌)ができることがあります。



溶血性レンサ球菌は極めてまれに急速に多臓器不全を起こす致死率の高い(約30%)劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)を発症することがあります。

小児～大人の広い年代、特に30歳以上に多いのが特徴で、あらゆる世代における感染対策が重要です。

◆ 予防法 & 治療法

- ・咳工チケットや手洗い励行
- ・家庭内感染を防ぐために、タオルの共有を避ける
- ・早めに医療機関を受診する



【治療には抗菌薬が有効です！】



薬を飲み始めると2～3日で熱が下がり、のどの痛みもやわらぎますが、合併症を防ぐため症状が治まっても医師の指示どおりに薬を最後まで飲むことが大切です。

○保健所医師のコメント

A群溶血性レンサ球菌感染症は抗菌薬による治療が大切です。のどの強い痛みと発熱がある場合は早めに受診し、処方された抗菌薬は医師の指示どおり最後まで服用しましょう。これにより、重症化や合併症を防ぐことにつながります。